

講義コード	110001401
講義名	数的処理Ⅱ（フードビジネス学科）
開講期	2024年度後期
⑤単位数	1単位
②授業形態	講義
⑥担当教員	落合 洋文、野村 聡、栗林 芳彦
ナンバリングコード	19F1Z1106

③科目概要	本講義では統計学の基礎的な概念を応用し、日常生活で出会う様々な問題について議論します。それによって統計数字の意味を理解することができるようになるだけでなく、大学生や社会人に求められる数的処理能力が養われるはずで、特にビッグデータを活用するデータサイエンスはフードビジネス業界では必須の教養になりつつあります。本講義を履修することでデータサイエンスを学ぶために必要な数的センスを身につけることができます。
①達成目標	平均、標準偏差、正規分布と標準正規分布など、高校でも学んだ数学概念を社会的な文脈の中で活用することにより、単に技術的な操作に慣れるだけでなく、むしろそれらの概念の意味を深く理解できるようになる。 また1人で考えるだけでなく、友人と議論し、考えを自分の言葉で表現できるようになる。
履修に必要な予備知識や技能（関連科目等）	数的処理Ⅰで学んだ内容を土台にして、より幅広い社会現象を分析できる分析ツールについて、基本的な考え方を学びます。
学位授与方針との関連	大学ディプロマポリシー立学の精神に則った知識・技術の修得関連する科目です
④授業計画、授業外学習の内容及び必要な時間	
第1回	数的処理Ⅰ
第2回	数的処理Ⅰ
第3回	数的処理Ⅰ
第4回	数的処理Ⅰ
第5回	数的処理Ⅰ
第6回	数的処理Ⅰ
第7回	数的処理Ⅰ
第8回	数的処理Ⅰ
第9回	(1) 標準正規分布とZ値 復習に60分

第10回	(2) ビッグデータの活用を前提としてZ値の応用；偏差値について考える。可否の予測の考え方 復習に60分			
第11回	(3) ビッグデータの活用を前提として変動係数の有効性を理解する。経営状態の判断やリスクの予測に調査データを活用する方法。 復習に60分			
第12回	(4) 正規分布から標準正規分布への変換と標準正規分布表の活用法 復習に60分			
第13回	(5) ベイズ推定 (バレンタインデーにチョコをもらったらの程度喜んでよいか) 復習に60分			
第14回	(6) 相関図と相関係数 復習に60分			
第15回	(7) ビッグデータの活用を前提とすると統計学の基本を使って調査データからどこまで社会現象を分析し、未来を予測できるか考えてみよう。 復習に60分 総合問題			
講義進行方法、課題へのフィードバック方法	勉強がわからなくなる最大の原因は、用語の定義や式の意味が理解できないことです。わからない言葉や式が出てきたら、すぐに先生に質問するか、自分で調べるようにしましょう。教員2名体制で討論の補助、個人的な学習支援を行います。またルーブリックを活用し、学修管理を行います。成績フィードバック期間において成績・課題に関する質問やフィードバックを受け付ける。			
アクティブラーニング				
講義前・講義後の自主的学修活動への助言	数的処理 I に比べて内容がやや高度になります。わからないときは積極的に教員に質問するようにしてください。			
⑦成績(達成度) 評価方法・評価基準、割合	学期末に行うチェックテストの成績で判定します。100%			
教員の実務経験と授業科目との関連				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『毎回、資料を配布します。』				
参考図書など				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『はじめての統計15講』	小寺平治	講談社	9784061565012	2012
参考URL				
NO	表示名	URL	説明	
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				